

総領事館便り 12月号

★令和4年秋の叙勲（ジョシ・カルヤディ・ハリム氏）

令和4年11月3日、日本政府は、令和4年秋の叙勲受章者を発表し、東ジャワジャパンクラブ／スラバヤ日本人学校維持会の常任副理事長であるジョシ・カルヤディ・ハリム氏が、当地における日系社会の福祉向上及び日本・インドネシア間の友好親善に寄与した功績により、旭日単光章を受章されました。

ジョシ・カルヤディ・ハリム氏は、東ジャワジャパンクラブでは、駐在員が輪番で役員を務め運営されるなか、長年に亘り常任副理事長を務め、常任理事長を支えるとともに、現地法令に則したクラブ運営に貢献しました。また、平成7年からはスラバヤ日本人学校維持会常任副理事長を務め、日本留学の経験をもとに、当局の学校活動への理解増進や当局と意思疎通の醸成に貢献しました。

平成30年秋の叙勲で旭日双光章を受章された岡野顧問に続き、東ジャワにおける日本人社会や日本人子女教育の発展に貢献されたハリム氏が受章したことは、当館としても大変喜ばしく考えております。

★竹山総領事のマディウン訪問

11月24日、竹山総領事はマディウンを訪問し、国営鉄道産業社（PT.INKA）を訪問した他、アンドロ・マディウン入国管理局長及びボビー・ウィボウォ MAESA 企業グループ CEO と面会しました。

（1）PT.INKA 訪問

日本は1980年から90年代、ODAを通じて同社のディーゼル車輛のリハビリ事業を行った経緯があり、現在も日本の技術者による技術指導が行われています。コロナ・パンデミック前には、鉄道車両製造に必要なアルミ加工の技術習得のため同社から多数の研修員が訪日していました。今般の訪問においても、同社幹部より、インドネシアの鉄道車両製造技術をさらに高めるため引き続き日本からの協力を必要としている旨発言がありました。



(2) アンドロ・マディウン入国管理局長との面会
竹山総領事より、マディウン在住の邦人が滞在許可関連手続きでお世話になっていることに対し感謝の意をお伝えし、アンドロ局長より、マディウンにおける外国人の在留状況につきお話を伺いました。



(3) ボビー・ウィボウォ MAESA 企業グループ CEO
同 CEO は中学生時代に訪日機会を得てホームステイをした経験から、このような体験をマディウンの子ども達にも経験させたいとの思いに至り、財団を設立。

仙台市にある「地球のこども通信」の協力を得て、2015年(6名)、2016年(6名)、2019年(16名)にマディウン県及び近隣の子ども達を日本に送り、ホームステイ体験をする交流プログラムを実施しています。

今般の面会では、2019年訪日プログラム参加者も同席し、日本での思い出や、今後、いかに活かしていきたいと考えているかについて興味深いお話を聞くことができました。



★令和5年度休館日のお知らせ

令和5年の在スラバヤ日本国総領事館の休館日は以下のとおりです。また本年は1月28日(水)まで開館、29日(木)以降休館となります。

1月 2日(月)	年始休暇
1月 3日(火)	年始休暇
3月22日(水)	サカ暦新年(ニュピ)
4月 7日(金)	キリスト受難の日
4月21日(金)	断食明け大祭
4月24日(月)	断食明け大祭
5月 1日(月)	メイデー
5月18日(木)	キリスト昇天祭

6月 1日 (木)	パンチャシラの日
6月29日 (木)	巡礼の日
7月19日 (水)	ヒジュラ暦新年
8月17日 (木)	独立記念日
9月28日 (木)	ムハマッド誕生の日
12月25日 (月)	クリスマス
12月29日 (金)	年末休暇

(了)